

クルードラゴンとは？ 民間宇宙船が変えたISS往復

SpaceXが開発し、ISSと地球のあいだで宇宙飛行士を運ぶ有人宇宙船。NASAはその輸送を、飛行の回数ごとに固定価格で発注しています。

造るのも運ぶのもSpaceXなら、
NASAは何を決めているんだろう？



カプセルとトランクの2つでできた機体

搭乗人数（設計上の上限）

7人

ISSへの1回の飛行で運ぶ宇宙飛行士は最大4人

- カプセル

与圧部 9.3m^3 。乗員と与圧した貨物を運ぶ

- トランク

曝露部 37m^3 。太陽電池とラジエータを備え、再突入前に切り離す

地球へ戻るのはカプセルだけ。回収能力は最大 $3,000\text{kg}$

打ち上げから着水・回収まで

STEP 01

打ち上げ

ファルコン9の先端に載ってフロリダから



STEP 02

ドッキング

ISSクルーに依存しない方式で自動結合



STEP 03

再突入

トランクを切り離し、カプセルだけが大気圏へ



STEP 04

着水・回収

パラシュートで減速し、回収船が吊り上げる

同じ手順を繰り返し、宇宙への行き来が計画して乗る便に

NASAは輸送サービスを買っている

SpaceXとのCCtCap契約総額

約49.3億ドル

2022年8月の契約変更時点・契約期間は2030年まで

- 発注の形
固定価格・数量未確定型で、飛行を回数ごとに発注
- 飛行回数
Crew-10～14の5回を追加し、合計14回

ソユーズの座席購入から、米企業の輸送サービスを契約で買う形へ

まとめ | クルードラゴンの要点

- 01 補給船をもとに緊急脱出や生命維持を加えた有人宇宙船
- 02 打ち上げ・自動ドッキング・着水までをSpaceXが受け持つ
- 03 NASAは2030年までの契約で飛行14回分を発注

まずは機体と契約の形を
知っておこう

次はファルコン9やISSを調べると、
つながりが見えてくるよ

